

6月は梅雨の季節

大雨に備えましょう！

防災情報

防災対策課

☎0738・23・5528

梅雨の季節を迎えました。気象庁が発表した3か月予報では、6月は西日本で降水量が多くなるおそれがあるとのこと。

大雨が降ると、河川の氾濫や、がけ崩れが発生するおそれがあります。これらの災害は、市内でも発生する可能性があることを知り、災害発生時に適切な行動がとれるよう準備をしましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップの活用を！

洪水・土砂災害

ハザードマップとは？

洪水・土砂災害ハザードマップは、日高川水系日高川および西川、江川が想定最大規模降雨（おおむね1,000年に1度の大雨）により氾濫した場合に想定される洪水浸水想定区域と、土砂災害が発生した場合に住民の生命

または身体に危害が生じるおそれのある区域を表す土砂災害警戒区域等を併せて示したものです。

危険な場所をチェック！

ハザードマップで、洪水時に浸水する区域や深さ、また土砂災害の危険がある場所をチェックし、自宅から避難場所までの経路や家族の連絡先などについて確認しましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップは以前に「広報ごほう」と一緒にお配りしております。市役所の情報発信コーナーのパンフレットラックのほか、防災対策課と都市建設課にも置いてあります。

また、市のホームページからもご覧いただけますので、一度ご確認ください。



市ホームページはこちら

油断は禁物！

ハザードマップはあくまで想定図です。雨の降り方や土地の状態によって、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することもありますので、十分注意してください。

家庭でできる大雨対策

大雨に備えて、日頃から準備をしましょう。

- ・自宅周辺の確認
家の周りの排水溝や雨どいを掃除して水はけを良くしておきましょう。
- ・防災用品の備蓄
停電や避難に備えて、非常用の飲料水や食料を備蓄し、非常持ち出し袋を準備しましょう。

●●● 大雨避難の心得 ●●●

大雨による被害を防ぐためにも、以下のことを心がけましょう！

- ①スムーズに避難できるよう、事前に家族と話しあい、避難経路を確認し、非常用食料など備蓄品を確保しておきましょう。
- ②防災行政無線やテレビ、ラジオ、緊急速報メールなどにより、大雨の情報を入手しましょう。
- ③余裕をもって安全な場所に逃げましょう。逃げ遅れた場合は2階以上、または危険のない近くの高い場所に避難しましょう。
- ④避難とは「難」を「避」けることです。自宅が安全な場所にある場合は、待機をし、不安であれば、安全な場所にある親戚宅や知人宅等または避難所へ避難しましょう。
- ⑤避難時は、動きやすい服装で、隣近所の方に呼びかけ、2人以上での避難を心がけましょう。
- ⑥「自らの命は自らが守る！」という意識をもって、適切な避難行動をとしましょう。



※御坊市では、必要に応じていつでも土のうを出せる土のうステーションを財部会館（湯川町財部485）に設置しています。ご自由にお使いください。

・土のうの準備
ハザードマップの想定で自宅が浸水する可能性がある場合は、土のうの準備をしておきましょう。

衣類や貴重品、持病薬、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオ、ティッシュペーパーなど